

◇平成3年工業統計調査の概要（従業者4人以上の事業所）

平成3年12月31日現在における本県の工業（製造業）の状況を見ると、事業所数は7,534事業所となり前年に比べ116事業所（1.5%）の減少となった。業種別にみると、増加したのは、電気、金属、プラスチックなど8業種で、食料品、木材など14業種が減少した。従業者規模別に見ると4～9人規模、20～29人規模、30～99人規模などで増加し、減少したのは4～9人規模、100～299人規模などであった。市町村別に見ると、菟野町、龜山市、長島町など24市町村で増加し、減少したのは四日市市、桑名市など38市町村であった。なお、市部、郡陪別に事業所数の構成比をみると市部61.6%、郡部38.4%となっている。

従業者は、231,252人となり前年に比べ1,865人（0.8%）の増加となった。業種別にみると増加したのは、電気、プラスチックなど10業種で、減少したのは食料品、繊維など12業種であった。従業者規模別にみると300人以上規模、30～99人規模、20～29人規模等で増加し、100～299人規模、4～9人規模で減少した。市町村別にみると、四日市市、鈴鹿市、龜山市など43市町村で増加し、減少したのは桑名市、大宮町、鳥羽市など26市町村であった。市部、郡陪別に従業者の構成比をみると市部67.3%、郡部32.7%となっている。

製造品出荷額等は、7兆8,111億2,000万円で、前年に比べ3,149億5,700万円（4.2%）増加した。業種別にみると、増加したのはプラスチック、窯業・土石など16業種で、減少したのは化学工業、非鉄金属など6業種であった。従業者規模別にみると300人以上規模、30～99人規模など、すべての規模で増加した。市町村別にみると増加したのは、四日市市、鈴鹿市、上野市など54市町村で、減少したのは大宮町、玉城町、大王町など15町村であった。市部、郡陪別に構成比をみると市部76.3%、郡部23.7%となっている。

表1. 最近10年間の工業の推移（従業者4人以上の事業所）

（金額単位：百万円）

	事業所数			従業者数			製造品出荷額等		
	実数	対前年比 (%)	昭和60年 = 100	実数	対前年比 (%)	昭和60年 = 100	実数	対前年比 (%)	昭和60年 = 100
昭和57	7,129	99.3	94.8	197,242	100.2	92.5	4,973,683	103.6	86.5
58	7,583	106.4	100.9	204,955	103.9	96.1	5,268,160	105.9	91.6
59	7,246	95.6	96.4	204,575	99.8	95.9	5,461,520	103.7	95.0
60	7,517	103.7	100.0	213,283	104.3	100.0	5,748,138	105.2	100.0
61	7,414	98.6	98.6	214,456	100.5	100.5	5,581,029	97.1	97.1
62	7,205	97.2	95.8	214,814	100.2	100.7	5,596,749	100.3	97.4
63	7,622	105.8	101.4	220,684	102.7	103.5	6,203,373	110.8	107.9
平成元年	7,295	95.7	97.0	222,693	100.9	104.4	6,868,076	110.7	119.5
2年	7,650	104.9	101.8	228,487	102.6	107.1	7,496,163	109.1	130.4
3年	7,534	98.5	100.2	231,252	100.8	108.4	7,811,120	104.2	135.9

（注）昭和57年～平成2年は通産省確定数、平成3年は県集計の概数である。